

「先に言ってよ！」これは、私や皆さんがよく経験する心の叫びです。その事を決める前にどうして事前に相談してくれなかったのか？と

さて、先の参議院選挙は、選挙戦の最終盤の7月8日（金）に安倍晋三元首相が応援演説中に銃撃され、暗殺されるというショッキングな事件があり、また、いわば仲間割れを起こした野党が一枚岩になれなかった事もあって、自民党の圧勝となりました。

今後は衆参両院で圧倒的多数となった岸田自公連立政権は、憲法改正にむけて、邁進するのではないかと、噂されています。

一方、医学界にとっては、リフィル処方箋や来年4月から原則義務化となったマイナンバーカードを用いたシステムの導入は、自民党が圧勝した事により、それがいよいよ現実のものとなってきました。また、拡大し続ける新型コロナ感染症への対策も大きな問題です。

そこで政府は、4回目のワクチン接種を、原則、高齢者と持病のある方に限り、行う事としましたが、選挙後、医療従事者にもその範囲を拡大しました、

そんな事なら、最初から医療従事者を対象者に含めておけば、よかったのに、この事が医学界にいらぬ反発を招きました。

医学界にとって接種の対象者になった事は喜ばしい事ですが、まさに、「さきに言ってよ！」です。

みやき町 今村洋一